

サティヤ サイ ババ様の御教えキーワード

サットサング

以下の御言葉はすべて同じ御講話からの抜粋になりますが、各項目ごとに、御講話で話されている順番に並べてあります。

1. 真のサットサング（善き交わり）とは何か？

サットサングとは、善い人々や帰依者や霊的求道者との交わりのことではありません。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

神はすべての行動の本質です。バッドラム トウルンヴァントウ、バッドラム スルンヴァントウ、バッドラム クルヴァントウとは、神を見ること（ダルシャン）、神と会話すること（サンバーシャン）、そして神の活動が、神の中にのみ体现されているという意味です。ですから、常に神と共に生きることこそが真のサットサングなのです。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

あなたの行動は思いと言葉に一致したものであるべきです。思いと言葉と行動を調和させることこそが真のサットサングです。真我の一体性を経験することが真のサットサングです。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

名前と姿はたくさんありますが、神は一つです。「サルヴァム カルヴィダム ブランマー（まことに、このすべてはブラフマンなり）」。そのような神における一体性を認識しなければなりません。目に見える多様性の根底には一体性があります。サットサングとは一体性を経験することです。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

サティヤ サイ ババ様の御教えキーワード

今日人々は、サットサングとは霊的求道者の集まりだと考えています。人々はそのような集まりに参加して、自分たちはサットサングをしていると考えます。しかし、本当の意味では、それはサットサングではありません。というのも、あなたが善いと思っている人々は、悪くなってしまうかもしれないからです。彼らは必ず変化します。どうしてそのような一時的な交わりが、永遠の幸福を与える事ができるでしょう？ それは不可能です。今日に至るまで、人々はサットサングの真の意味とその意義を理解していません。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

皆さんは、若い時からアートマ（真我）の至福を得る努力をすべきです。それを皆さんの唯一の努力とすべきです。皆さんの思いと言葉と行動はこのことに向けられるべきです。それは真のサットサングです。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

2. なぜサットサングが必要なのか？

サットサング（善き交わり）は、アートマ（真我）の原理を理解するためには必要不可欠のものです。

もしあなたがアートマ（真我）の原理を理解したいのであれば、多様性が働く機会を与えてはなりません。あなたがこの世で見えるものや聞くものすべては、単なる反映、反応、反響に過ぎません。実体は、あなたの中にあります。アートマの原理に気づくためには「エーカム サット（神は一つである）」という信念を培わなければなりません。それは唯一であり、二つは存在しません。それは変化することなく、（過去・現在・未来という）あらゆるときに、（覚醒・夢見・熟睡という）いかなる存在の状態においても、同じままであり続けるのです。あなたは、この真理を知るために、サットサングに参加しなければなりません。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

サティヤ サイ ババ様の御教えキーワード

3. サットサングを妨げるものは何か？

自然界に存在するすべての事物は、一時的な存在です。あなたは何一つ永遠なるものを見つけることはできません。それらは人間を魅了し、幻惑します。一時的な性質をもつ事物は、一時的な幸せしかもたらしません。

SS0J ホームページ 2003年3月1日の御講話

あなたは、「どうすれば神のビジョンを得ることができるだろう？」と疑問に思うかもしれません。おお、お婆かさん！ あなたは神を捜す必要はありません！あなたがどこを見ても神はそこにいます。神はすべての事物の中に浸透しています。あなたが神を見る事ができないのは、外的な見かけに惑わされているからです。パシュヤティ イティ パシュフ（外観だけに頼るのは動物です）。

SS0J ホームページ 2003年3月1日の御講話

アートマ（真我）には名前がありますが、特定の姿はありません。至福こそがその真の姿です。それは私たちの内に豊かに存在しています。外的な幸福を切望する時、あなたは生来の至福も失うのです。

SS0J ホームページ 2003年3月1日の御講話

姿形（アカーラ）に基づいた差別に付け入る隙を与えてはなりません。差別を手放しなさい。今日、我々は様々な名前や姿や肉体的関係を神に当てはめるために、さまざまな区別が生じているのです。あなたは、そのような関係を取り除くべきです。

SS0J ホームページ 2003年3月1日の御講話

4. サットサングを培い、深めるにはどうしたらよいか？

神は一つです。神はサットと呼ばれます。エーカム サット ヴィップラーバフダー ヴァダンティ（真理は一つ、しかし賢者はそれを様々な名前と呼ぶ）。過去・現在・未来の三つの時間のすべてを通じて変わらないものがサット（絶対

サティヤ サイ ババ様の御教えキーワード

実在) です。あなたは、揺るぎない心と変わらぬビジョンをもって、決して変わることはない唯一者と共に生きるべきです。あなたの思いと言葉と行動は、一貫して神聖なものでなければなりません。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

ヴェーダ聖典は、リタム（天則）の原理について語っています。リタムは、変わることはない真理を象徴しています。この世の事物は、すべて変化します。あなたがリタムを培えば、変わることはない永遠の神性を理解することができますでしょう。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

あなたが何を見ても、あなたが何を経験しても、それはすべて神の現われに他なりません。事実、あなた自身が神なのです。ですから、ヴェーダは人間に、「私は神であり、神は私以外のものではない」という信念を育てるようにと教えています。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

あなたが、自分をはかない事物と結び付けば、その結果もまた一時的なものにならざるを得ません。あなたは、神との友情を培わなければなりません。神との友情のみが真実で永遠です。神はあなたの中に存在しています。あなたはそれを外側にみつけることはできません。外の世界は変化に支配されています。世界は物質の組み合わせ以外の何物でもありません。この世に存在するものすべてが一時的なものです。永遠のものは何一つ存在しません。この世に見えるものはすべて幻影です。目に見えない真我の原理のみが真実で永遠なのです。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

すべての事物は、必ず時間の経過とともに変化します。アートマ（真我）は永遠です。アーナンダは永遠です。至福は経験することしかできません。皆さんの視覚と、聴覚と、行動は、常に真我に焦点を当てておくべきです。そうすれば必ずニジャーナンダ、ニッティヤーナンダ、アドヴァイターナンダ（真の至福、永遠の至福、不二一元の至福）を体験することができます。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

サティヤ サイ ババ様の御教えキーワード

皆さんは、神と共にいることによってのみ、永遠の至福を経験することができるのです。すべての世俗的な活動や経験は、必ず変化します。アートのみが不変です。これはサンスクリット語で「リタム（天則）」と呼ばれます。この永遠の原理を経験するには、肉体への執着を手放して、皆さんの中にあるアートマは他の人々に内在するアートマと同じものであるということを理解しなければなりません。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

様々な電球の中を同じ電流が流れているのと同様に、同じアートマがすべての生き物の中に存在しているのです。エーカートマ サルヴァ ブーターンタラートマ（唯一なるアートマがすべての生き物に宿っている）。しかし今日、人間はそのような広い心を持ち合わせていません。愛の姿そのものである神を経験するには、皆さんが愛の化身にならなければなりません。神と愛は分離しているものではありません。人間にはこれほど神聖な原理が備わっているので、ジャントゥーナーム ナラ ジャンマ ドゥルラバム（あらゆる生類の中で人として生まれるのはもっとも稀なことである）、と言われているのです。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

私たちの人生の目標は、アートの原理に象徴された真理に他なりません。人生の目標を探求する代わりに、人間は生命の秘密を知ろうとしています。それは不毛な努力です。これを知るためには、何度生まれ変わっても十分ではありません。あなたの心を人生の目標に定めなさい。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

あなたが生まれたのは、再び生まれて来ないためであることに気づかなければなりません。あなたは、何によって自分の人生が成就するかを理解し、それを経験しなければなりません。それは、アートの原理の一体性です。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

アートマは、人間のなすことすべての永遠の照覧者として留まります。外的な

サティヤ サイ ババ様の御教えキーワード

活動は変化しますが、アートマの永遠の真理はいかなるときも変わることはありません。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

あなたは、心の気まぐれに従ってはなりません。どのようなことがやって来ても、あなたの視界はアートマの上にしっかりと固定されていなければなりません。数珠には 108 の数珠玉がありますが、それをつなぎ止めているのは、同じ一本の糸です。その糸は神を象徴しています。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

愛は、多様性の中に一体性を見ることができるようになります。ですからあなたは、愛を培い、同じ神我が万人に内在しているという根本的な真理を理解しなければなりません。あなたは、一体性の原理を理解する努力をすべきです。それのみが真のサーダナなのです。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

神はサッティヤム（真）とシヴァム（善・吉祥）とスンドラム（美）の化身です。あなたが見るもの、聞く者、経験するもののすべてを、神に捧げるべきです。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

どのような霊性修行であれ、人はいったん決断したことをあきらめてはなりません。一点に注意を集中させるべきです。一体性の原理にのみ耳を傾けるべきです。人は行動を神に捧げなければなりません。カルマンニエー ヴァーディカーラステー マー パレーシュ カダーチャナ（あなたの本分は行為そのものにある、決して行為の結果にはない。ギター 2 章 4 7 節）。あなたが何をするにせよ、神が喜ぶようにそれを行いなさい。サルヴァ カルマ バガヴァッド プリーッティヤルタム（すべての行為を神を喜ばすために為せ）。そうすれば、いかなる罪も生じることはありません。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

サティヤ サイ ババ様の御教えキーワード

すべてが神なのです。この真理を理解するためには、あなたは人間のレベルから神のレベルへと上がらなければなりません。多様性の根底にあるサット（絶対実在）の原理を知らなければなりません。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

諸君の勉強はすべて物質レベルで行われます。諸君の勉強と共に、精神次元における一体性の原理について黙想しなさい。アッラー、イエス、ラーマ、クリシュナ・・・名前は違いますが、神は一つです。神は一つであるという、断固とした信念をもちなさい。あなたが普遍にして永遠の「真理」の原理を実感認識することを可能にするサーダナ（霊性修行）を行いなさい。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

「イーサーヴァシャム イダム ジャガット（全世界に神が浸透している。）」
「イーシュワラ サルヴァ ブーターナム（神は万物の内在者である。）」この一対の原理を黙想すれば、人類の一体性を思い描くことができます。人間と人間の間に緊密な関係が生まれるでしょう。困難は、流れ行く雲のように現れては消えていきます。あなたはそれについて心配する必要はありません。あなたの視線を太陽にしつかりと固定していなさい。世俗的な幻影という雲も、アトマのビジョンを見ることを妨げます。そのような状況においては、こころを動揺させてはなりません。忍耐力をもちなさい。「雲」は去り、再び「太陽」が現れます。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話

あなたがどこを見ても、そこにはアトマの原理があります。この一体性を理解しなさい。あなたの教育と共に、アトマの感覚を身に付けなさい。アトマの感覚を身に付ければ、憎しみ、妬み等々のよこしまな性質は、近寄ることすらできないでしょう。あなたは痛みや苦しみに悩まされることが無くなります。あなたは不二一元の状態に留まるでしょう。それこそが真の至福です。心の焦点を神に向けなさい。神の命令に従いなさい。そうすればあなたの人生は救われます。

SSOJ ホームページ 2003 年 3 月 1 日の御講話